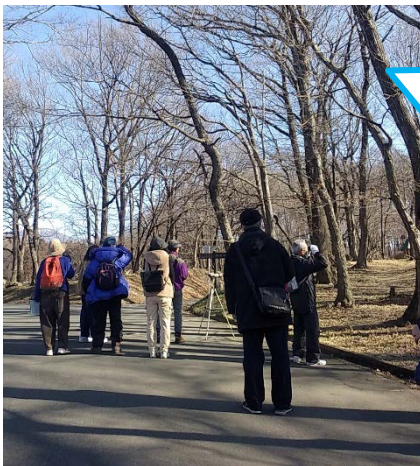


イベント名	野鳥観察会（令和 6 年度）
概要	自然の大切さや環境保全に親しんでいただくことを目的に、野鳥観察会を開催しました。『日本野鳥の会群馬』所属の講師のもと、野鳥の特徴や観察のポイントなどの説明を聞きながら、嶺公園内を散策しました。
日時	令和 7 年 2 月 1 6 日（日） 午前 9 時から正午まで
場所	嶺公園（前橋市嶺町 1 3 0 0）
イベントの様子	風は弱くて気温は暖かく、まさに鳥見日和でした。 ○オリエンテーション 全体の 8 割以上が初参加の方々です。まずは双眼鏡の使い方から教わりました。 ①接眼レンズを自分の目幅に合わせる。 ②目標物を決める。 ③ピントリングを回し、片目ずつピント調整。 ④左右でピントが合ったら準備完了！ まず肉眼で野鳥を探し、見つけた後に双眼鏡を使って観察します。 視点を変えずに双眼鏡を持ってくるのがポイントです。 ○観察会の様子 葉が落ちたこの時期は枝にとまる野鳥を観察しやすいです。 カラスはカラスでも ●ハシブトガラスは ・ピョンピョンと両足で跳ねるように歩くことが多い ・「カーカー」と鳴く ●ハシボソガラスは ・足を交互に出す二足歩行をすることが多い ・「ガーガー」と鳴く 公園内を約 2 時間かけて、ゆっくり一周しながら鳴き声を頼りに野鳥を探します。



上着がいらないくらいにとっても暖かい陽気でした。

1週間前は雪だった嶺公園も、この日は雲一つない青空です！



平成13年度より開催してきた野鳥観察会史上初めてアオバトを観察することができました！

それも肉眼で十分な程、近距離からでした。

「アオバト」と呼ばれますが、緑色のハトです。

「アオ」と名がつくものは緑色、

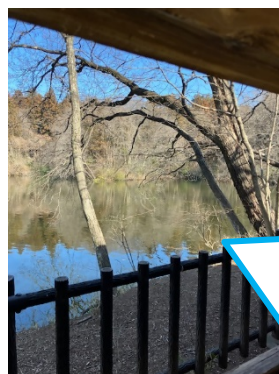
「ルリ」とつく青色が多いとのことでした。

ウグイス色という鮮やかな黄緑色がありますが、実際のウグイスは緑がかった灰褐色です。

ウグイス色とはメジロの色だそうです！

擬態し天敵から身を隠す生物もありますが、野鳥については華やかな種も多く、観察の時期によって見た目も様々で見ていて楽しいです。

繁殖シーズンのオスは、婚活仕様の色鮮やかな勝負服に衣替えをするそうです。



大堤沼では、滅多に見ることができない「オシドリ」を今年度も観察することができました。

穏やかな水面と、そこに浮かぶ水鳥達。癒し効果抜群です！

時間を忘れていつまでも眺めていられそうでした。

今年度は、**19科36種**の野鳥が観察できました。

観察会終了後のアンケートでは、100%の参加者の方々より

「また野鳥観察会に参加したい」とご回答いただきました。

自由記述では、

「思っていたよりも楽しかった。」

「小鳥やカモ類等見分けづらいものや、声の判別がしづらいものもすぐ教えていただけた。」

「普段利用している公園でも新しい発見を得ることができた。色々な鳥を見つけることができて楽しかった。」

などの回答をいただき、大変有意義な観察会になりました。

参加者の方々が満足そうな笑顔で帰って行かれる様子がとても印象的でした。